

ハ乙女

令和 8 年 2 月 25 日発行

編集・発行

南山見地域づくり協議会

富山県南砺市川原崎 15

南山見交流センター

TEL・FAX (0763) 82-5176

mail:minamiyamami.kmn@gmail.com

祝 南砺市二十歳の集い

おめでとうございます



今を夢中に生きていること

前川 舞美



まず、無事に二十歳を迎え心から嬉しく思います。20年間、ずっと支えてくれた両親、これまで関わってくださった先生方や友人に恵まれ、今の自分があるのだと強く感じています。本当にありがとございます。

そして今日、二十歳という一つの節目を迎えました。大人になるといふことには、期待と同時に不安も感じています。これから先の人生をどう生きていくのか、悩むこともあると思います。そんな中で、私の生き方に大きな影響を与えた経験があります。それが、新体操を続けてきたことです。私は、小学生から高校生まで新体操に取り組んできました。練習がつらく、何度も辞めたいと思うことはありましたが、それでも新体操が好きだという気持ちは変わらず続けてきました。しかし、中学3年の時、目標としていた全国中学校体育大会は、新型コロナウイルスの影響で中止になりました。みんなで夢見てきた舞台を失い、新体操を続ける意味や目標を見失ってしまいました。そんな時、後輩から「もう一度、一緒に団体をやりたい」と声をかけてもらいました。その一言に背中を押され、私は「今できることを全力でやろう」と思い、中学生最後の試合までやりきる決意ができました。その経験をきっかけに、私の新体操人生はここで終わることなく、両親やチームの仲間、先生方に支えられながら、高校でも新体操を続けることが出来ました。そして、現在も、形を変えながら新体操に関わり続けています。

これまでの歩みは、決して一人で成し得たものではなく、誰かの言葉や支えがあったからこそ歩んで来られたのだと感じています。私自身、これまでを振り返ると、過去の選択を後悔したり、将来への不安を抱いたりすることが多くありました。しかし、そうした思いにとらわれるあまり「今」という大切な時間を大事に出来ていなかったことに気が付きました。これから先、不安なこととはたくさんあると思います。それでも、今この瞬間と向き合い、自分が今、何を大切にしたいのかを考えながら過ごして行くことで、進むべき道は見えてくるのではないかと思います。

今日、この場に立つ私たち一人ひとりが違う道を行っていきます。だからこそ、自分の心が踊ることを信じ今を夢中に生きていきたいです。

(二十歳の集い「二十歳の主張」より)

年頭のごあいさつ



南山見地域くへり協議会

会長 田 中 一 昭

新年明けましておめでとございませう。皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は本協議会の事業に対しご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。今年も引き続き宜しく、お願い申し上げます。

さて、今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。江戸時代からの迷信が原因で、60年前の回は子供の産み控えにより、前年比で3割近く出生数が減少しました。しかし、少子高齢化が問題となっている今日、より多くの赤ちゃんが誕生することを期待しています。午（馬）は力強さや躍動感、成功の象徴とされ、「勝負運」「開運」「前進」等のご利益があると信じられています。とりわけ、「丙午」の今年は、「火の性質を持つ強いエネルギーで道を切り開く」という非常に縁起の良い年なのです。これにあやかっ、本協議会としても「飛躍の一年」にしたいと願っています。

まずは、最大のテーマである「つながり合う南山見」を実現するために、フェスティバル、体育祭、文化祭・敬老の集いの3大行事を始めとした、地区の交流促進をしたいと思います。そのためには、昨年同様、行事の内容を地区の現状に即したものに改善していく必要があります。また、喫緊的課題である、防災・鳥獣被害・空き家等の対策を引き続き促進していかなければなりません。さらに、地区社会福祉協議会や女性部の解散に伴う組織づくりや事業の継承を検討していきたいと思っております。

また、井波地域に目を向ければ、井波招魂社の屋根修復や旧井波庁舎の跡地活用等、先が見えてきた事業もありますが、八乙女連絡道整備計画や東洋紡跡地活用等、さらなる進展を図っていかねばならない課題も多くあります。

いずれにいたしましても、地域コミュニティを推進し、様々な課題解決に向けて、地区の皆様には多大なるご支援ご協力を賜り、南山見にとって「飛躍の一年」にいたしましょう。

千年の新年を迎えて



今年頑張りたいこと



坂 清正 (平成26年生)

ぼくには、今年がんばりたいことが二つあります。

一つ目はスキーです。今年目標は、全国大会のジュニアオリンピックに出場することです。自分の滑りのくせを直すために、コーチのアドバイスをよく聞いて、しせいを意識して練習をがんばりたいです。同じチームの先べいたちがジュニアオリンピックでかつかくしているの、ぼくも出場できるように努力します。

二つ目は、最高学年としての学校づくりです。6年生として、学校行事や集会をみんな協力して盛り上げ、全校生徒が楽しく過ごせる学校にしたいです。特に、新1年生には、学校は楽しいところと思ってもらえるように良くしていきたいです。

この二つの目標を達成できるように今年1年がんばりたいです。

新年を迎えて



瀧田 惇史 (平成14年生)

家族や周りの皆さまに毎日支えられながら過ごしてきて、今年2回目の年男を迎えられ

たことをとても感謝しています。昨年大学を卒業し、南砺市の会社に就職し社会人として新たなスタートを切りました。

1年目は、知識不足や経験不足、コミュニケーション不足から仕事で失敗したり、会社の環境に上手く馴染めなかったりした時もありましたが、先輩社員に色々教えてもらいながら、一つ一つの知識や技術を身に付けていて、日々の仕事に全力で取り組みました。

そして、これから仕事にさらに熱意を持って取り組んでいき、身体にも気を遣い、日頃の感謝を忘れずにもっと飛躍していきたいです。

日々修行



山田 佳奈恵 (平成2年生)

吉川英治書の「宮本武蔵」に『我以外皆我師也』という言葉があります。自分以外の人、モノ、自然すべてが自分に何かを教えてくれる師であり、学びは果てしないという有名な言葉です。

人にものを教えたり、年齢や立場、役職が上になると、いつの間にか人に対し慢心が生まれ、偉くなったような気になります。私自身への戒めも含め本来に気を付けなければなりません。

最近のネットへの書き込みでも「自分が正義で相手は悪」といった書き込みも目につく時代になっています。知らず知らずのうちに人を傷つけていることもあるからこそ、新年に改めて自分を見つめ直したいと思っております。

毎日子ども達に接していると、思いがけない気付きや学びがあります。乾いたスポンジのように何でも吸収する集中力をもって、謙虚な心を大切に、感謝を持ち、これからも日々修行です。

新春のごあいさつ



南砺市議会議員 才川 昌一

新年明けましておめでとございます。ご家族おそろいで、輝かしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も市民の福祉向上のために努力してまいりたいと思います。昨年は、猛暑から一転し、例年より早く冬将軍がやって来るなど、異常気象が顕著となっております。今年も大きな災害が起こらないことを願っております。

また、熊の異常な出没が、山間地域だけでなく市内一円で多発し、住民生活を不安にさせており、その対策を考えていかなければなりません。

市政においては、人口減少が加速的に進み、昨年行われた国勢調査で実際の人口が把握され、そのことを受けて、交付税の減少や地域経済の衰退が懸念されます。

今後は、地域コミュニティのあり方など、人口減少に対応した施策を模索していくことも考えていかなければなりません。

そのような中において、自然との共生と再発見をテーマにした次世代型ネイチャーパーク「プレイアース パーク」の開業や、それに誘発されたかのような、桜が池周辺への企業進出、そして、「南砺キャンパス」と名づけられたデータセンターの集積地の整備による大型の企業進出が見込まれています。これまでの企業誘致に向けた努力が実を結んできたものと大きく期待を持っており、そのことよって市にもたらす効果は大きいと考えます。

しかしながら、公共交通の再構築や学校の再編、そして医療改革など、まだまだ課題が山積しているとともに、市民からの行政に対する期待はますます大きくなってきております。

将来に負担を残さず、持続可能な市政運営に向けて、議論を尽くしてまいりたいと思います。

最後に、地域の皆様のご健康とご多幸を願うとともに、地域の発展を心からお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

新年を迎えて



高橋 卓也 (昭和53年生)

気が付けば47年の月日が流れ、今年で48歳の年を迎え、歳月の流れの速さに驚いています。

これまで色々な事を経験し、成長していく中で、両親、家族、親友、私に関わっていただいた全ての人達に支えられ、ここまで歩んでくることができました。そのご縁と支えは、本当に感謝の気持ちがあります。

今年で4度目の午年を迎えるにあたり、今まで歩んできたこと、特別何かが変わるというわけではありませんが、健康には十分に気を付け、これまで以上に仕事に邁進し、午(馬)の如く目標に向かって力強く、一歩一歩着実に前へ、手綱をしっかりと締め、「うま(午・馬)くいく」1年になるよう駆け抜けていきたいと思っております。

人生の節目を迎えて



徳成 尚子 (昭和41年生)

年が明け、還暦という節目を迎えました。これも、家族はもちろん今まで地域の皆さまや多くの周りの方々に支えていただいたお陰だと感謝しています。

また現役ですが、体力・知力は徐々に落ち、気力だけは何とか落とさずにいるのが救いでしょうか。新たな気持ちで、第一の人生を楽しみに、もう暫くは頑張りたいと思っています。

新年を迎えて



山本 真弓 (昭和29年生)

昨年南山見女性部会長という貴重な経験をさせて頂いたとき、皆さまのご支援と協力のお陰で無事努め終えることが出来ました。女性部は今年度末で解散という節目を迎えますが、これまでの活動で築き深めてきた地域の皆さまとのつながりや部会員の絆はこれからも続いていくと思っております。

新年を迎えて

南山見地区の人々の交流の輪が、これからも世代や環境の変化に応じた無理のない活動で広がっていくことを願っています。私自身、地域の一員として、今後ともよろしくお願いたします。

早いもので、今年で6回目の午年を迎えます。嫁いだから地域の方々や、様々な人たちに支えてもらって今日まで無事にこられたことに感謝しています。

昔から、健康だけが取り柄の自分だと思ってきましたが、最近では、だんだん足腰が弱くなってきました。知人に相談したら、「3B体操でも始めたら」と助言をいただき、昨年秋が終わってから入会することにしました。

月2回の活動ですが、音楽に合わせてストレッチ運動をすると、不思議なことに、身体が少し軽くなったような気がするのです。

新しい年を迎え、今年も3B体操を継続して、健康維持に努め、少しでも病気やケガのない1年を過ごせたらと思っています。



第48回八乙女文化祭

～世代を超えた元気と優しさが広がる!～

実行委員長 富田利通

11月9日(日)、「八乙女文化祭」を「敬老の集い」との同時開催で実施しました。あいにく小雨混じりの天候でしたが、早朝より大勢の皆さまにご来場いただきました。

開会式の後「敬老の集い・米寿の祝い」が行われ、続くオープニングステージでは、県の事業を活用して砺波市の「義正会」「風香の会」をお招きし、生の地方演奏による本格的な民謡と踊りでお祝いムードを盛り上げていただきました。

11時過ぎから、ステージ発表、各種団体の模擬店、食堂等がオープン。



上手な踊りに拍手喝采



艶やかに…



楽しく賑やかに…



透き通った音色の大正琴

ステージ発表では、子ども民謡教室の児童らによる愛らしい踊りを皮切りに、詩吟、民謡、大正琴や、AIでカラー化を施した記録映画『六石六斗』の上映が行われ、会場いっばいに歓声や笑顔が花開きました。



やしそばいかが～

各種団体の模擬店や食堂では、焼きそば、串もつ、水餃子、おはぎ、赤飯、生ビール、コーヒー、うどんなどの様々な品が用意され、多くのお客さんで賑わいを見せていました。その他、ヘルスボランティアグループ他の方々

による血圧測定や健康チェック、茶道クラブによるお茶席も設けられ、和やかな語り・交流の場となりました。



各種団体の活動報告

会議室・大ホールでは、各種団体の活動報告に加え、絵画、書道・絵手紙、手芸、写真、園芸等、多彩な作品が展示。合わせて季節の農産物展示も行われ、品評会では金賞5点が選ばれました。いずれの作品・農産物からも、制作者や生産者一人一人の創意と情熱がうかがわれ、足を止めてじっくりと鑑賞される姿が多く見られました。お陰様で約220名を数える来場があり、南山見の世代を超えた元氣と優しさが大きく広がった1日となりました。

終わりに、出演・出品いただいた方々、準備から片付けに至るまでご協力いただいた実行委員、各種団体、町内会等、多くの皆さまに心より感謝申し上げます。



温かいうどんは大盛況



心穏やかに一服



力作ぞろいの作品展示

農産物品評会 金賞受賞の皆さん

- ゆず 直江 学 さん
- 富有柿 亀田 清美 さん
- 小豆 松井 泰範 さん
- 里芋 川原 彦市 さん
- 白菜 ファーム八乙女 さん



見事な出来の農作物

令和7年 米寿祝

米寿のみなさん
おめでとうございます

- 高橋外喜子 様 (院瀬見1区)
- 田村すが子 様 (院瀬見2区)
- 山本 智井 様 (院瀬見4区)
- 林 みつ子 様 (東城寺)
- 山田登志子 様 (東城寺)
- 小橋外喜雄 様 (戸板)
- 皇 尚嗣 様 (川原崎)
- 前川 源亮 様 (川原崎)



いつまでもお元気で



踊りや民謡を楽しみました

この行事は、南山見の誇りでもあります。この行事の開催にあたり、ご協力をいただきました皆さまに感謝いたします。



大勢の方で賑わいました

11月9日(日)、「第34回敬老の集い・米寿の祝い」を八乙女文化祭と合わせて開催しました。式典では、75歳以上の223名の方々をご招待しましたが、その内80名が参加され、皆さまに記念品をお渡ししました。

また、今年米寿をお迎えになられた方は8名で、その内出席された4名の方々は、南山見地域づくり協議会の田中会長からお祝い状が手渡されました。残念ながら、当日参加できなかった他の米寿の方々には、後日、田中会長と南山見地区社会福祉協議会の篠原会長が各ご家庭を訪問しお渡しすることが出来ました。

脈々と続くこの行事は、南山見の誇りでもあります。この行事の開催にあたり、ご協力をいただきました皆さまに感謝いたします。



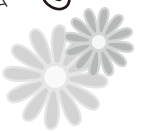
地方演奏によるおわら

敬老の集い・米寿の祝い

南山見地区社会福祉協議会

副会長

井上智子



備えよ！常に！！『自助』『共助』『公助』 ～南山見地区防災訓練～

安全・防災副部長 篠原正之



「私の町内は全員無事です」

こうと考え、防災無線の災害発生訓練の発報時にサイレン吹鳴を入れ、肉声のアナウンスでは聞き取りにくいことからデジタル音声放送に変更しました。放送を合図に、全てのご家庭では玄関先に無事（人的被害がない）を知らせる「白タオル」の掲示訓練に参加していただきました。南山見地区全体の「白タオル」掲示率は、67.7%でした。

10月19日（日）、南山見交流センター及び体育館を主会場として「南山見地区防災訓練」を開催しました。

今回の防災訓練は、地域の皆さまに多く参加していただ



AED を使いみんなで救助



簡易トイレの組立

「白タオル」が掲示してあれば、戸別に声をかけて家族全員の無事を確認する戸数が減り、早期に災害時の人的被害の把握ができると思いますので、今後の防災訓練では「白タオル」の掲示率が少しでも100%に近づいていくようにしたいと思います。

各集落の公民館への1次避難訓練参加者は269名。その後、2次避難所となっている南山見交流センターへ徒歩等で集まっていただきました。2次避難所には、70名余りの地区の皆さま



門扉にかけたり、扉裏側に貼るに

まに参加いただき、避難所開設訓練を行いました。

昨年に行った避難所で使用する多目的プライベートルームや段ボールベッドなどの組立のほかに、簡易トイレの組立、担架による救出訓練やAED訓練も行いました。

また、避難所での子ども向けの簡易な工作遊び体験、男女共同による非常食の配給訓練による非常食のパンの試食、ミニ防災検定などを新たに行いました。最後に、防災士の方からハザードマップの説明等を受け今回の防災訓練は終了しました。

日頃の防災訓練に参加することで、いざという時の備えになります。南山見地区は災害に対し「共助が強い」と言われる地区になるよう皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。



ダンボールベッドの寝心地は？



プライベートルームの組立



「非常食の缶入りパンはいかがですか」



赤十字奉仕団の皆さんでパンをカット



様々な非常食があります

災害時の子どもの居場所 ～子どもに優しい空間づくり～

11月16日（日）、井波総合文化センターで「災害時における子どもにやさしい空間（CFS）準備設営研修」が開催され、地域の防災関係者など多くの方が参加しました。

CFS（チャイルドフレンドリースペース）とは、災害や事故などにおいて、避難先で子どもたちが安心して、そして安全に過ごすことができる場所を指します。ここでは、子どもたちの遊びや学び、こころやからだの健康を支えるための多様な活動や情報が提供される空間となります。災害時こそ「子どもに優しい空間」を、みんなで支え合い協力して作り上げましょう。



グループでもしました

南砺市議会12月議会傍聴

12月11日（木）、地域づくり井波連合会から15名が参加し、南砺市議会定例会12月会議の本会議を傍聴しました。



南砺市議会 議場

会議では、才川議員が代表質問、他の井波選出議員2名も一般質問をされ、新年度予算の方針、各種計画の進捗状況や補正予算の事業の取り組みなどについて、市の考え方を問われていました。

才川議員からは、大きな懸案事項である、病院再編について経営に対する市の認識を質問され、市長から、医療機器の更新すら危ぶまれる現状であることから、再編について改めて住民に説明の場を設けるとの答弁がありました。

今後の市政の方向を決めていく重要な場でもあり、皆さまも一度傍聴に行かれてみませんか。

花壇作り・文化祭展示作品作り

児童クラブ 亀田博義



何色のチューリップかな

11月2日(日)、南山見交流センターで、児童クラブの花壇づくりと文化祭展示作品作りを行いました。

時折小雨が降る日となりましたが、花と緑のグリーンキーパーの方々に教えてもらいながら、春に咲くことを楽しみに思いつつ全学年で

チューリップの球根を植えました。その後、和室に移動して文化祭に展示する作品作りに取り組みました。

講師の先生が持ってきてくださった、可愛いモチーフや落ち葉を糸で繋げながらバランスを考え、みんな楽しみながら「モビール作り」に取り組むことが出来ました。



可愛い飾りがあったね

新年の集い

前田さんによる吟詠



1月4日(日)、南山見交流センターで「新年の集い」を開催しました。

才川市議会議員、マーシ園の柴田本部事務局長を来賓にお迎えし、南山見地区内の区長、町内会長、協議会役員など51名の方々が一堂に会し新年を祝いました。

田中会長や来賓の方々の挨拶の後、前田由美子さんにおめでたい「松竹梅」を吟じていただきました。

災害により、中止となった年もありましたが、今年は、心穏やかに新年を迎えることができ感謝申し上げます。



和気あいあいと歓談しました

三世代交流サロン「さつまいも掘り」は雨で中止

南山見地区社会福祉協議会 長田晴樹

10月13日(月)、子ども達と一緒にする予定だった「さつまいも掘り」は、残念ながらあいにくの雨のため中止になりました。

さつまいも掘りに併せ計画していたゲームとして、今回は、県卓球バレー協会の安井さんと浦島さんに指導していただき「スクエアポッチャ」をしました。

このポッチャは、4つのチームが正方形の各辺に分かれ、チームごとに赤、青、黄、緑の球を6個ずつ持ち、最初のチームが投げた白い玉を目掛けて1人ずつ自分の玉を順に投げ、白い玉に最も近づけたチームに得点が入るゲームです。白熱した展開となり、「惜しい」「いいぞ!」などの歓声、笑顔、ため息



白い玉に一番近いのは誰のボールなの?

ありで大いに盛り上がりました。最後に成績発表を行い、三世代が一緒に遊ぶ楽しい半日となりました。

夏の「たまねぎ収穫祭」三世代交流サロンに続く今回のサロンでしたが、こうして三世代による交流の場が持てたのは大変良かったと思います。家族や保護者10名、子ども18名、サロン関係者

40名、合計68名の多くの参加となりました。帰りには、予め用意していた「さつまいも」を少しずつですが、親子参加者にお土産として持ち帰っていただきました。参加していただいた皆さまには大変感謝しております。

高齢者世帯等の生活を支援します

ごみ出し支援事業

ごみ集積場への「ごみ出し」を頼まれた場合に助成します。

◆対象世帯

- ・高齢者のみ世帯
- ・障がい者と高齢者のみ世帯

◆対象となる作業

ご近所の方にごみ出しを頼んだ場合(回収業者に直接頼む場合は除く)

◆助成金額

可燃物: 50円/回、不燃物100円/回 (年間上限5,000円)

○粗大ごみ等をクリーンセンターとなみへ搬入される場合は個別にご相談ください。



じょうぐち除雪支援事業

自宅の前の「じょうぐち除雪」を頼まれた場合に助成します。

◆対象世帯

- ・高齢者のみ世帯
- ・障がい者と高齢者のみ世帯

◆対象となる作業

町内の方にじょうぐちの除雪を頼んだ場合(業者等に直接頼む場合は除く)

◆助成金額

2,000円/回(30分以内は1,000円) (1シーズン上限3回)

○屋根雪下ろし等の助成は、市地域包括ケア課へご相談ください。

※上記いずれの事業を利用される場合も、お住いの地区の高齢福祉推進員又は民生委員にご相談され、南山見地域づくり協議会へ申請してください。

そば打ち体験と忘年会を開催



成壮年部 武田 宏一



大きさを揃えて慎重に…

12月14日（日）、利賀村の施設で「そば打ち体験」をしました。参加人数は少数でしたが、普段は味わえない良い経験ができました。

まずは、粉をふるいに掛けることから始まります。ソバ玉を作り、生地を練り、麺棒で丁寧に伸ばし、そばの形に切り終えるまでの工程が約1時間半もかかりました。熟練した指導員の方からピンピンと駄目出しを貰いながらの作業でしたが、初めての体験の割には最後に「上手にできたよ」とのお褒めの言葉に感激しました。

早速、隣のお店で温かいそばに作ってもらいましたが、よく見てみると、太いのや細いの、まれに三角の形が混ざるバリエーションに富んだ麺です。でも、自分達が作ったそばだと思うと、味も一際おいしく、記憶に残るものでした。

夕方からは南山見にお住いの店主さんのお店「居酒屋 なのに」で忘年会（交流会）を開催しました。年齢層の幅広い会なので、ほぼ初めて会う会員さんもいて、今後の会の運営なども含め大いに交流を深められたと感じました。

年齢が一回りも二回りも違う会員と話をしてみると、日頃の生活スタイル・考え方など価値観の違いがあり、多様性を感じられるのも良い経験になりました。

今後も会員が一人でも多くなるよう声掛けしながら交流を続けていきたいと思えます。



楽しく忘年会

皆さまに支えられて52年

— 待望の新マーシ園八乙女竣工！ —

社会福祉法人マーシ園 理事長 豊川 寛

令和6年9月から川田工業・藤井組・タカハタ工業建設工事共同企業体が工事を進めていた新しい「マーシ園八乙女」が11月25日竣工いたしました。

昭和34年、富山県で初めて身体障害者授産施設として開設され、昭和48年に現在地に移転新築して以来、地域の皆さまに支えられて52年が経過いたしました。その間、障害者総合支援法による3障害一元化により、身体障害者に加え精神・知的障害者の受入れや、利用者の高齢化・重度化が進み、福祉サービスが多様化しており以前の施設では対応が難しくなりました。



みんなで楽しく忘年会

平成27年の計画策定から10年、長年の夢だった移転新築が、この度実現いたしました。入所者52名を含む利用者約100名の皆さまが大変喜んでおられます。地元南山見の皆さまの温かいお言葉と、工事実施に全面的にご協力いただき誠にありがとうございます。

この施設では、入所者居室の個室化、全館空調整備、男女別エリア設定、感染隔離対策、福祉サービスの機械化・デジタル化、防犯セキュリティ機能、災害時の在宅障害者避難施設など明るく暖かいマーシ園八乙女に生まれ変わりました。



れ変わりました。

特に就労継続支援B型事業では、作業棟を存分に活用して利用者の方々が社会に大きく羽ばたいていただけるものと期待しております。

そして新たなこの事業拠点を中心に心の通う福祉のまちづくりの一翼を担うため、マーシ園の役職員一同気持ちも新たに地域の皆さまにかわいがっていただける施設となるよう一層精進してまいります。

12月1日から新しいマーシ園八乙女で運営を開始いたしました。入所定員が3名減の52名となったこと、入所者居室4人部屋からの完全個室化、防犯セキュリティ機能強化に伴うICカードによる自動ドアの開閉制限など、まだまだ慣れない新生活の中で新しいルール作りを利用者と共に模索しております。

なお、この会報八乙女が発行される頃には旧八乙女の解体工事を終え、4月頃からは駐車場舗装工事を進め、秋には仮設駐車場を田んぼに戻してお返ししたいと思います。

今後ともご指導と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆さま方のご健勝と南山見地域の一層のご発展をご祈念申し上げます。



完全個室に…



機械浴室



木工室

クラブ・セミナー・
教室紹介コーナー **その6**

カローリング部会

代表 前川 幸雄



ジェットローラー

皆さまこんにちは。南山見老人クラブ連合カローリング部会です。現在、部会員11名で、南山見交流センター体育館で、毎月第1水・木曜日の午後2時から練習をしています。(冬期は実施していません。年間の練習日を来年度より見直したいと考えています)

練習成果を出すために、毎年井波社会体育館、福野体育館、砺波西部体育館で行われる大会に出場して、腕を競いあうとともに、他地区の老人クラブの方々との交流を楽しんでいます。しかし、どの地区でも同様ですが、部会員の高齢化、新部会員が入ってこない、世話方がいない等問題も多く抱えています。

カローリングは、天候に関係なく誰でもできる軽スポーツです。ひとつやってみようかなと思う方は、まず会員に声をかけてください。お待ちしております。



ポイントゾーンを狙って、確実に…



ポイントゾーン



歳末見舞い訪問

南山見地区社会福祉協議会 蓮田 松夫



これからお宅に訪問します

12月6日(土)、南山見地区社会福祉協議会で、年末に恒例となっています「歳末見舞い訪問」を行いました。

75歳以上の一人暮らしの方や、80歳以上の方を対象とした事業で、赤飯と

ティッシュペーパー、それに励ましの手紙を添えて、地区内122名の高齢者の方々のお宅を訪問しました。

近年の物価高で、特に様々な食料品が値上がりし生活に大きな影響が出てきています。中でも「令和の米騒動」と呼ばれる米の需要混乱により米価は前年より倍に上昇し、年金暮らしの家計には厳しい負担が増しました。

また、令和7年の夏は記録的な猛暑が続き、ようやく秋らしくなったと思えば、今度は頻繁するクマの出没。高齢者世帯には厳しい1年となりましたが、少しでも心温まる気持ちで年を越していただきたいと思います。

この訪問事業は、地区の現状を直接肌で感じる大切な行事でもあり、地域コミュニティ活動として今後とも続けていきたいと思っています。

令和8年の午年は、穏やかで良い年になるようお願い、これからも、皆さま、健康に留意されお過ごしください。



歳末見舞いの品

受賞おめでとうございます

- 富山県知事表彰ボランティア部門 (ボランティア分野) 功労表彰
徳成 花枝さん (令和7年10月7日受賞)
- 富山県社会福祉協議会会長表彰
直江 喜美代さん (令和7年10月22日受賞)
- 富山県知事表彰 産業経済部門 (農林漁業分野) 功労表彰
農事組合法人 ファーム八乙女さん (令和7年10月25日受賞)
- 南砺市功労表彰 厚生(保健衛生)部門
亀田 セツ子さん (令和7年11月7日受賞)
- 富山県環境保健衛生連合会会長表彰
松井 正子さん (令和7年11月15日受賞)

新しい民生委員・児童委員

- 吉田 友治 さん(再任) 担当地区: 院瀬見1区、2区、3区、4区
- 澤田 洋美 さん(再任) 担当地区: 東城寺、清玄寺、連代寺、志観寺
- 岩崎 洋子 さん(新任) 担当地区: 谷、戸板、里領、南山見新
- 山本 久美 さん(再任) 担当地区: 沖、川原崎、五領島

編集後記

本誌「八乙女」第1号が発行されたのは昭和52年10月1日、戦後に南山見公民館が発足して30周年を迎え、新たな公民館(現交流センター)の建設工事が前月末に起工されたその時でした。そして半年後の昭和53年3月末に竣工・開館し、今に続く豊かで結束力ある地域づくりが始まりました。干支で言えば「巳年から午年に」代わった時(年)にあたります。

今年はまさに午年に代わった年。南山見地区がより飛躍するよう、地区の皆さまの智恵とアイデアで盛り上げていきたいものです。(T2)

お疲れ様でした 南山見女性部

この度、南山見女性部は、令和8年3月をもって解散することになりました。南山見婦人会を受け継ぎ、南山見地区に貢献する活動や、女性の活躍の場を広げる取り組みにご尽力いただき感謝申し上げます。



今後、南山見女性部は解散しますが、それぞれ町内の女性部はこれまで通り存続し活動を続けられるそうです。各自自治会・町内会の一員として、また、地域づくり協議会の役員として引き続きコミュニティづくりに貢献していただけるものと期待しています。長年、お疲れ様でした。